



吉川小だより 9月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和7年8月29日発行
〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210
E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



残りわずか89秒

本日より2学期が始まりました。元気いっぱいの子どもたちを見ると、いよいよ始まるなという気持ちになります。長い夏休みの後ですから、体調に気をつけながら、子どもたちとともに少しずつがんばっていききたいと思います。

さて、みなさんは「世界終末時計」というものをご存じですか？ 核戦争や地球温暖化などによる人類絶滅の瞬間を「午前0時」として、それまでの残り時間を「あと何分（秒）」という形で象徴的に示すもので、アメリカの雑誌の表紙絵に使われている時計です。今から78年前の1947年にこの時計がスタートしたとき、針は7分前を指していました。そして、どんどん針は進み、今年の1月にととう「1分29秒（89秒）」になってしまったのです。これは、この78年間の中で最も少ない時間です。それだけ、現在の世界は危険な状態になっているということです。

私は、この夏休みに戦争や平和に関する番組をたくさん視聴しました。その中でこの世界終末時計のことを知ったのですが、正直とても恐ろしい気持ちになりました。もう、それだけしか時間は残されていないのか、と。そして、6年生と一緒にいった修学旅行で見学した原爆の怖さを思い出し、改めて「絶対に戦争をしてはいけない」と強く感じました。



今年は終戦から80年という節目の年です。日本はこの80年、幸いにも戦争にならずに今日まで来ています。その一方、ウクライナや中東など世界の至る所で今も戦争が続き、多くの命が失われています。そんな様子をニュースで見て、「たいへんだけれど、日本は大丈夫だね」という意見もあります。しかし、本当に大丈夫なのでしょうか。

私は、教育の最終目標は「平和」だと考えています。将来日本だけでなく世界に向けて羽ばたき、未来を創造していく子どもたちに、相手に対する思いやりの尊さを教え、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」と言える力を身に付けさせることが、平和につながると思うのです。

世界終末時計は、1991年には「17分前」になったこともあったそうです。みんなの力で平和な世界を創り上げることは、決して不可能なことではないと思います。この澄みわたる青い空が、いつまでもいつまでも続きますように。

校長 谷口 浩之